

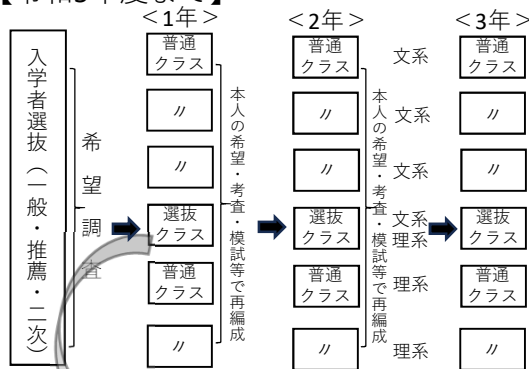
鹿屋高校（難関大・難関学部を目指す）「選抜クラス」について

鹿屋高校の「選抜クラス」は1年生から編成はせず、2年生から編成することとしました。

【変更する理由】

- ・ 「学び」が主体的な学習、生徒に合った学習の進め方（個別最適な学び）に変容していくため。
- ・ 高等学校の学習内容や生活に慣れ、自身の進路目標をしっかりと見据えてもらうため。

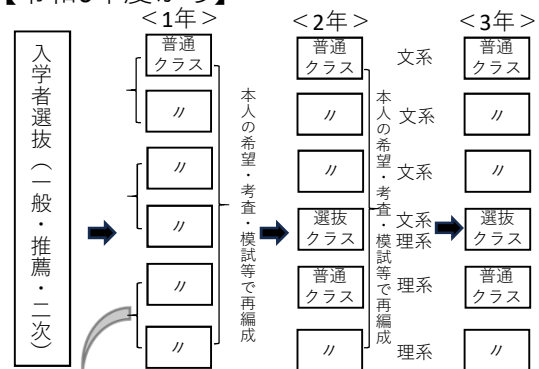
【令和5年度まで】



・ 選抜クラスでは一クラスで数学・英語の授業を展開し、普通クラスと比べて、より深い思考を促す問い掛けをしたり、課題を出したりしていましたが、選抜クラスであっても、数学・英語の理解度は一定ではない状況もあり、受験に向けて基礎固めをする必要があった。

・ 入学時点で特に進路目標が定まっているわけではなく、漠然としている生徒も多い。高校の学習内容は中学校の内容に比べて質・量ともに増えるので部活動との両立が難しい面もある。

【令和6年度から】

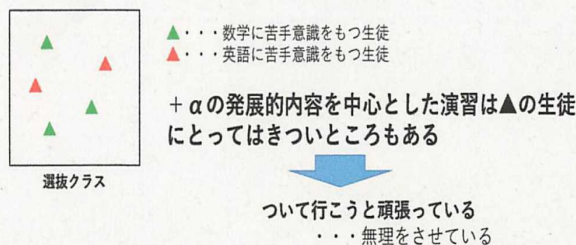


・ 数学、英語は2クラスを3解体し、習熟度別に編成されるので、生徒は個人の学習状況を把握した上で課題等に取り組み、自分に合った学習の進め方を選択できる。
・ 習熟度を充実させることで、理解度が不足している生徒はそれを補い、理解が深まっている生徒は発展的な内容に取り組むことができる。

・ 生徒は、1年間で自身の進路目標を明確にした上で進学先を決定する。入学から1年経過し、高校生活に慣れ部活動と学業の両立ができるという自信を身につけてから、「選抜クラス」で難関大等を目指す。

1年生の選抜クラス

・ 高校入試の5教科の総合点をベースに編制



新1年生のクラス編制

・ 選抜クラスを作らずに、数学・英語は習熟度別授業を実施

